23年度当初　予算の概要

平成23年度予算が、第1回町議会定例会で可決され、一般会計など6つの会計が執行されることとなりました。新年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

一般会計は46億3,500万円で、前年度比較2億2,900万円、4.71％減。特別会計総額では5億4,174万9千円で、前年度比較2,413万円、4.66％増となりました。一般会計と特別会計の合計では51億7,674万9千円（前年度比較2億487万円、3.81％減）となりました。

●一般会計　税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
●特別会計　下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

（単位・千円、▲は前年度比減）

会計区分	本年度	前年度	伸び率％
一般会計	4,635,000	4,864,000	▲ 4.71
国民健康保険	207	219	▲ 5.48
簡易水道事業	39,900	41,800	▲ 4.55
公共下水道事業	183,200	141,300	29.65
国保町立診療所	318,442	322,200	▲ 1.17
宅地造成事業	0	12,100	▲ 100.00
特別会計（合計）	541,749	517,619	4.66
総合計	5,176,749	5,381,619	▲ 3.81

■一般会計における予算の特徴

一般会計予算は、町長選挙の年であるため、骨格予算での編成になっています。当初予算額は46億3,500万円で、22年度予算額に比べて2億2,900万円、4.71％減の骨格編成予算となりました。

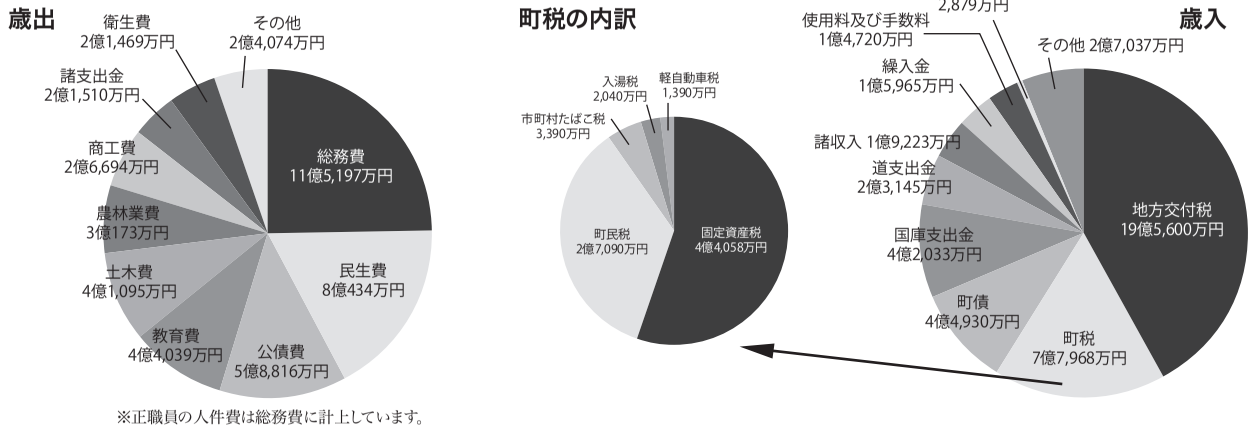
「新まちづくり計画プライムタウン21-1」は4年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画や事業の見直し・効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では2.8％の増額となっていますが、ほぼ同額を計上しており、22年度決定額と比較すると9億6,667万円、5.2％の減の予算措置です。

投資的事業は、継続事業を中心に計上したため、対前年比で3億3,724万円、40.93％減となりました。国・道補助金や平成22年度に計画が認定された辺地地区における辺地対策事業債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

ソフト事業では、「写真の町」ひがしかわ株主事業、少子・高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



※正職員の人件費は総務費に計上しています。

■新年度の主な投資事業

【投資的事業】（単位・千円）

・第三地区地域センター外構工事67,000（農山漁村活性化支援プロジェクト交付金）
・第三地区地域センター体験農場整備工事28,000（農山漁村活性化支援プロジェクト交付金）
・林業体験施設作業道整備工事53,000（農山漁村活性化支援プロジェクト交付金）
・西10号道路改良事業81,600（社会資本整備総合交付金）
・道道旭川旭岳温泉線防犯灯設置事業35,760（社会資本整備総合交付金）
・合併処理浄化槽設置整備事業7,500　・キトウシ森林公園駐車場整備事業87,000（社会資本整備総合交付金）
・公営住宅等整備事業15,126（社会資本整備総合交付金）　・草刈り機械購入事業8,949（電源立地交付金）

東川町の家計簿　東川町の財政を家計にたとえると…

23年度の町の予算は46億3,500万円（一般会計）になりました。家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するため、町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成しました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは23年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明します。

				（参考）昨年度数値
収入	給料（町税・地方交付税）	59万円	家族全員の収入 68万円	65万円
	パート収入（使用料・手数料など）	9万円		
	親からの仕送り（国からの補助金など）	18万円	家族全員の収入＋親からの仕送り 86万円	84万円
	借金（町債）	10万円		
	貯金の解約（繰入金）※1	3万円		
	財産（土地や家）の貸付など（財産収入）	1万円		
	合　計	**100万円**		

※1　貯金の残高は521万円あります（22年度末の貯金残高見込を100万円に置き換えた数字）

				（参考）昨年度数値
支出	食費（人件費）	18万円	生活費　75万円	68万円
	家族の医療費（乳幼児医療費などの扶助費）	7万円		
	光熱水費、被服費、その他雑費（消耗品費・燃料費・通信運搬費など）	38万円	生活費＋借金返済 88万円	80万円
	車や家具の修理代（維持補修費）	1万円		
	子供たちへの仕送り（特別会計への繰出金、広域連合への負担）	11万円		
	借金の返済（住宅ローンなどの返済による町債費）※2	13万円		
	家の増改築（公営住宅建設、道路整備など）	10万円	財産づくり	17万円
	貸付金等	1万円	親戚などへの支援	1万円
	貯金	1万円		
	合　計	**100万円**		

※2　借金の残額は1,242万円あります（22年度末の借金残高見込を100万円に置き換えた数字）

収入の柱は給料の59万円とパートの9万円、それと親からの仕送り18万円です。支出は日々の生活費として75万円、住宅ローンの返済などに13万円、家の増改築費に10万円かかっています。

【資料】　22年度末基金（貯金）と町債（借金）残高見込み

基　金（貯金）

一般会計	（百万円）	（H21末）
財政調整基金	316	367
減債基金	248	206
公共施設整備基金	627	503
ふるさと創生事業基金	112	112
地域振興基金	96	95
地域福祉基金	344	341
写真の町文化基金	127	127
未来を拓くみんなの夢基金	200	200
総合体育館建設基金	16	16
「写真の町」ひがしかわ株主基金	15	9
小西健二奨学基金	30	30
住民生活に光をそそぐ基金	59	—
小計	2,190	2,006
土地開発基金	148	164
備荒資金	79	78
一般会計合計	2,417	2,248
特別会計		
公共下水、診療所	1	1

町　債（借金）

一般会計	（百万円）	（H21末）
建物（公営住宅除く）、道路の整備などに借りたもの		
22年度末残高見込み	2,646	2,448
うち国の交付税で補てんされる金額	▲1,120	▲802
差引残高（町が負担する額）	1,526	1,646
財源不足を補うために借りたもの（臨時財政対策債など）		
22年度末残高見込み ※全額が国の交付税で補てん	1,727	1,554
公営住宅の建設のため借りたもの（入居者の負担を基本）		
22年度末残高見込み	1,383	1,380
特別会計		
簡易水道事業分	488	509
下水道事業分	914	968
診療所分	481	501
宅地造成事業分	0	17
うち国の交付税で補てんされる金額	▲837	▲871
差引残高（町と受益者の負担額）	1,046	1,124